

# 「2012年度 県立相模原総合高等学校 被災地復興支援活動」

～福島県南相馬市の子ども達にクリスマス・プレゼントを贈りました～

## 1. 活動の概要

震災から一年が過ぎた2012年3月11日、本校生徒会は、テレビなどから被災地の思うように進まない復興の様子を見て、「まだまだ終われない」「今だからこそ」との思いから、昨年一年で終える予定でありました被災地復興支援活動（昨年度は大船渡市立赤崎小学校へ約90万円の物資支援）に引き続き、今年度も「SAGASO Cheering Project 2012」として活動しました。

6月より、「これから先も支援の心を」との言葉を掲げ、被災地の「子ども達の笑顔」のために全校生徒が協力して、様々なプロジェクトを実施しました。

### 【実施プロジェクト】

NO	内容	実施月	義援金
①	体育祭で「飲み物」販売	6月	9,400円
②	体育祭で「クッキー」販売	6月	4,368円
③	第1回街頭募金活動	6月	188,488円
④	文化祭売上げから義援金	9月	85,446円
⑤	文化祭資源ゴミから義援金	9月	1,565円
⑥	定期演奏会で募金活動	9月	49,815円
⑦	復興支援活動表彰による副賞	10月	10,000円
⑧	第2回街頭募金活動	10月	154,591円
⑨	10周年記念式典での募金活動	11月	16,772円
⑩	第3回街頭募金活動	12月	234,263円

義援金合計 **754,708円**

2年間の義援金合計 **1,684,977円**



部活動生徒有志による募金活動

## 2. 活動の成果等

今年度も、「子ども達の笑顔」のために全校生徒が協力して様々なプロジェクトを実施し、総額 **754,708円** もの義援金を集めることができました。

生徒会で今年の支援先を検討したところ、津波のみならず原子力発電所事故の影響により、現在、仮設校舎で授業を行っている福島県南相馬市の「真野小学校」と「福浦小学校」へ、両校が必要とする品物を「クリスマス・プレゼント」として贈りました。

また品物とあわせて、昨年度と同様に本校生徒の思いを込めた「応援旗」と、真野小・福浦小の子ども達一人ひとりに応援メッセージを入れた「手作りのクリスマス・カード」も贈りました。

2年間で集めた義援金総額は **1,684,977円** にもなり、活動当初の趣旨である「高校生でも、全校生徒が力を合わせ継続して活動すれば大きな支援ができる。」ことを達成することができました。

### 【支援先】

- ① 福島県南相馬市立「真野小学校」（全校生徒51名）  
・津波により校舎に被害があり他校へ避難中。
- ② 福島県南相馬市立「福浦小学校」（全校生徒35名）  
・原子力発電所事故により「避難指示解除準備区域」に指定され他校へ避難中。

### 【支援物資】

- ① 両校より依頼された品物（総額約75万円）  
・真野小：ワンタッチ型集会用テント  
空気清浄機（4台）  
・福浦小：ワンタッチ型集会用テント  
ワイヤレスアンプとマイクのセット
- ② 両校に図書カード（5万円分）
- ③ 両校に本校生徒がデザインした「応援旗」
- ④ 全生徒（86名）に、「手作りのクリスマスカード」と「クリスマスのお菓子」



手作りのクリスマスカード

☆ 「SAGASO Cheering Project2012」を終えて…  
震災支援プロジェクトリーダー 下川 望

震災から1年以上が経ち、「3.11」の記憶が薄れてしまっている人が多いと感じていました。

そこで私たちは昨年度に引き続き、今年度も「これから先も支援の心を」をテーマに様々な支援活動に取り組んできました。最初は義援金が集まるか不安でしたが、多くの方々の支えと「頑張れ」という応援があったから最後までやり遂げることができ、約75万円もの義援金が集まりました。

協力していただいた方々には、言葉にして伝えられないほど心から感謝しています。

今までの経験を忘れずに、これからも自分たちができることを続けていきたいです。



体育祭でのクッキー販売



クリスマスツリーの前で募金活動

☆ 子ども達からのお礼の「手紙」と「写真」

